

Jyunichi Nagata

良き師は

取材者は、永田先生の顔だけは以前から知っていた。私は稚中に所属しており、永田先生は中央小の教務部長なのだ。しかし話はしたことがなかった。私は以前から永田先生を取材したかったのだ。今回、ようやくお話をうかがうことができた。何故、私が永田先生に興味をもったかという、永田先生は稚中の3年生が、小6のときの担任なのだ。中3の生徒たちは今でも永田先生が大スキ♥なのである。小中合同研修などで永田先生が中学校に来るとなると、3年生は朝からそわそわして大変なのだ。こんなに慕われる永田先生は「人たらし」なんじゃなからうか？取材当日、中3の生徒数名に、「今日、永田先生と会うから近況報告。」と言って、動画を撮った。その動画を永田先生に観てもらったときの表情が、楽しそうで、「本物だ！」と私は直感した。人選は間違っていなかった。

Q よろしくお願ひします。まずは人となりに関する質問です。ご出身は。
A 石狩です。札幌の高校から釧路教育大へ行きました。空知で何年か勤め、その後はずっと宗谷です。

Q 余暇の過ごし方は。

A 趣味はドライブ・体を動かすこと。テレビは「ダーツの旅」「ザワつく」がスキです。読書は流行っている本を読むことが多いです。

Q それでは、教師としての質問を。

教務部長として意識していることはありますか？

A 教職員が「つながる」ことができるよう、意識を一致・共有させることです。

そういう姿や雰囲気子どもにも感じさせたいと思っています。

Q 「つながる」がキーワードですね。

A そうですね。これは学担を持っているときにも大切にしてきました。みんなで何かをやるって、楽しいことなんだという価値を持たせられるよう意識してきました。子ども同士が「つながる」ことのできる仕掛けは常に考えてきました。

Q どんな子どもを育みたいですか？

A これからの世の中を考えると、自分で考えて行動できる力は必要ですよ。さらに仲間のことも考えられるように育てていきたいです。そのために、教師は「学校って楽しいよ」って、子どもが感じられるように努力していくべきだと思います。学校に気持ちが向かない子も、少しでも行きたいって思えるようにしたいです。

Q 教師として、大切にしていることはありますか。

A 子どもの目線に立つことです。

自分がつまづいたり、失敗したときに戻るところです。

Q 失敗した時に戻るところってステキですね。

今日はお忙しい中、時間を割いていただきありがとうございました。

夢じゃないあれもこれも
今こそ胸をはりましょう

つながりのコーディネイター

稚内中央小学校

永田淳一先生

隣の席にいる

Ryoko Takeyama

武山先生はとてもよく知っている先生だ。一緒に勤務したのは潮中で1年間だけだが、3年生の学級を私が担任、武山先生が副担任で、かなり濃い1年を一緒に戦ったり、喜びを分かち合ったりしながら過ごした。私が思い付きではじめるデタラメな学級の諸々のこと、文句ひとつ言わず付き合ってくれたよなあ。いつも笑っている人で、笑顔がステキなんだよ。いつも苦虫噛んだような担任を中和してくれた。癒された生徒は数知れずだ。あの学級の生徒は「亮子ちゃん♥」でちゃんづけだったなあ。姉みたいだったんだろうなあ。オジサンの思い出話はどうでもいい。今回のミッションは私の大好きな武山先生を紹介することなのだ。

Q お久しぶりです。

A お久しぶりです。

Q 武山先生は今年度の4月に南中に赴任しましたが母校ですよね。

A はい稚内出身で、南小→南中→稚内高校→文教大です。

Q 母校に勤務って、いいですね。どんな感じですか。

A 校舎もそのまま変わってなくてなつかしいです。

Q 武山先生のこと知っているようで知らないことがあります。趣味って何ですか。

A 人と会っておしゃべりすることですが、最近はコロナでできません。

Q 国語教諭ということで、好きな小説はありますか。

A 三浦しをんさんの「風が強く吹いている」です。

Q それでは、教師としての質問を。教師として心がけていることは。

A 期間限定の関係なので、3年の中でいかに成長させられるか。声掛けや、関わり方など。本当はもっと甘やかしたい。

Q それでは、3年間で育てたい子どものイメージは。

A あったかくて、強い人。

Q 教師をやっていて良かったなあと思うのはどんなとき。

A 子どものニコニコが見れたとき。

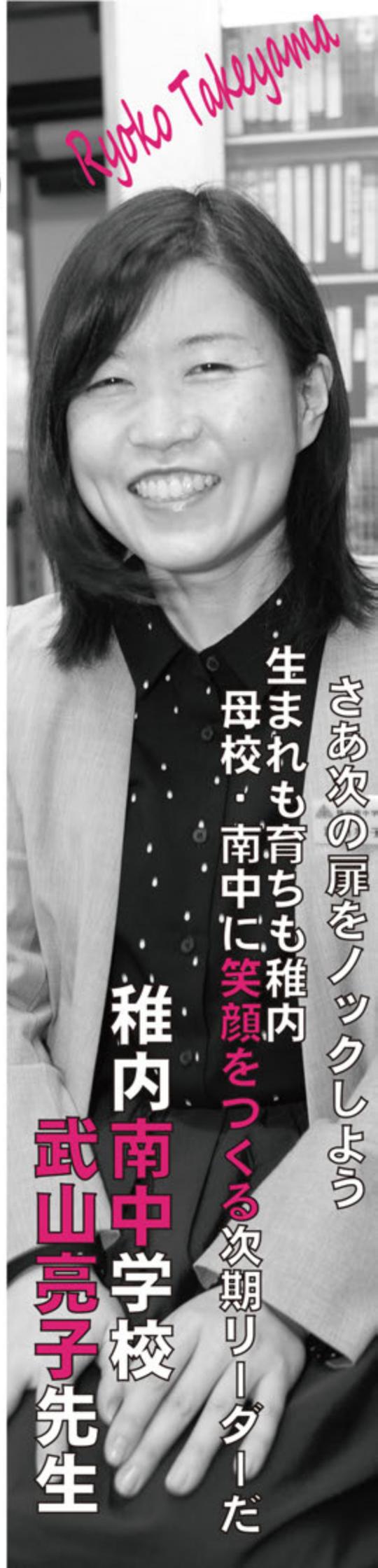
Q 若い先生を見て思うことは。

A みんなキラキラしてる。いつまでも持っていてほしい。自分自身が勉強させてもらうことがたくさんある。

Q 今日は話せて楽しかったです。ありがとうございます。

武山先生は今までに学年部長・研究部長・教務部長を経験してきている。この先しばらくは南中のリーダーとして、稚内市の教育を支えてくれるであろう。

取材・撮影 稚内市教育研究所所員・稚内中学校 泉 雄大



さあ次の扉をノックしよう

生まれも育ちも稚内
母校・南中に笑顔をつくる次期リーダーだ

稚内南中学校

武山亮子先生